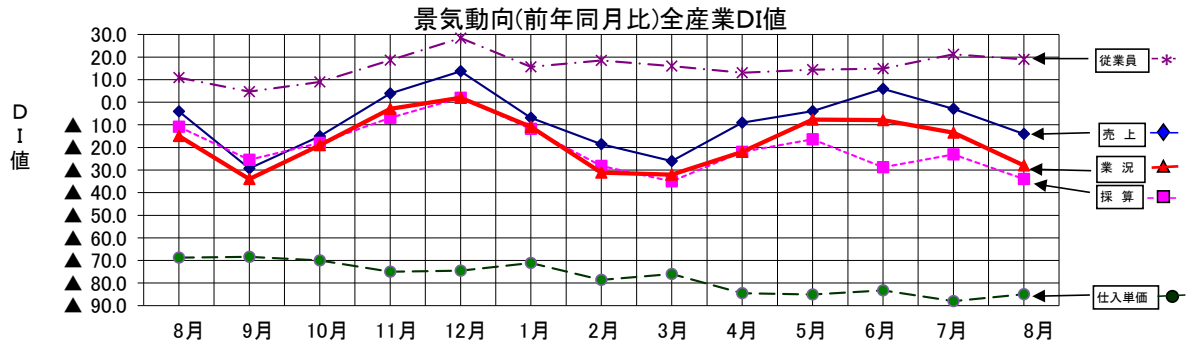


早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 8月分

【8月の概要】 原材料高騰に急激な新型コロナ感染再拡大が追い打ち 企業経営は更に厳しい状況に

業況判断を示すDI値は、「仕入単価」で若干改善(+3.0ポイント)したものの、ほぼ全ての指標で悪化している。「売上」「採算」「業況」では2ケタ台の急激な悪化となっている。先行き見通しについても、「業況」で9.5ポイント、「売上」で6.1ポイントの悪化となり、原材料高騰に加え、新型コロナウイルス第7波による感染再拡大の影響を大きく受けているものと思われる。

寄せられたコメントでは、これまで少なからず回復傾向にあった業種においても昨今の物価高騰や急激な感染拡大、人手不足等の影響で、再び企業経営に大きく悪影響を与えていることが窺える。さらに、最低賃金の引き上げも今後の懸念材料と考えられる。



【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2021年8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	2022年8月
売上	▲4.0	▲29.3	▲15.0	▲3.9	▲13.7	▲6.9	▲18.5	▲26.0	▲9.0	▲3.9	▲5.9	▲2.9	▲14.0
採算	▲10.9	▲25.5	▲18.0	▲6.9	▲2.0	▲11.8	▲28.2	▲35.0	▲22.0	▲16.4	▲28.7	▲23.1	▲34.0
業況	▲14.9	▲34.0	▲19.0	▲2.9	▲2.0	▲10.8	▲31.1	▲32.0	▲22.0	▲7.7	▲7.9	▲13.5	▲28.0
仕入単価	▲68.8	▲68.4	▲70.0	▲75.0	▲74.5	▲71.1	▲78.6	▲76.0	▲84.5	▲85.1	▲83.2	▲88.0	▲85.0
従業員	10.9	4.7	9.0	18.6	28.4	15.7	18.5	16.0	13.0	14.4	14.9	21.2	19.0

- ・マイナス幅が減少したDI値：仕入単価3.0ポイント
- ・プラス幅が減少したDI値：従業員▲2.2ポイント（需給均衡局面へ）
- ・マイナス幅が増加したDI値：売上▲11.1ポイント、採算▲10.9、業況▲14.5ポイント

向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
6月	8.9	▲12.9	5.9	▲64.4	23.8
7月	▲1.9	▲20.2	▲12.5	▲63.5	23.1
8月	▲8.0	▲23.0	▲22.0	▲59.0	25.0

- ・見通しが改善したDI値：仕入単価4.5ポイント
- ・見通しが悪化したDI値：売上▲6.1ポイント、採算▲2.8ポイント、業況▲9.5ポイント、従業員1.9ポイント（人手不足局面へ）

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	設備工事	部品の入手ができないと顧客からの信頼を失う。緊急対応で、中古部品の再生を試みている。
	ゼネコン	ウクライナ侵略による原材料の仕入価格上昇のインパクトは大きく、価格転嫁交渉を丁寧に進めている。
製造業	鋼材	現場工事関連の人手不足が相当に深刻。
	製菓	感染拡大で人手不足に陥り一部生産調整。原料高騰、天候不順、円安、最賃大幅上昇等、一層悪化の見込み。
卸売業	食品	感染拡大により人員配置に大変苦労している。1日も早く5類指定にして欲しい。
	青果	感染再拡大で外食や宿泊等の需要減少傾向。猛暑や物価上昇を受け家庭消費の減少が懸念される。
小売業	衣料品	売上は前年と同程度であるが、コロナ前と比べ3割減である。
サービス業	設計	3年に及ぶコロナの影響は「緩やかな下降傾向」。しかし、設備投資の減少は明らかで注意を要する。
	レストラン	人流停滞、物価上昇、人件費上昇（最低賃金引上げ等）、人手不足と四重苦である。
	タクシー	回復傾向にあったが急激な感染拡大で元に戻ってしまった。燃料やタイヤ等の値上がりで経営状態は最悪。